



東山小学校だより

令和3年3月10日

※ 町内配付3月10日

教育目標 「心豊かに たくましく 自ら学ぶ 東山の子」

「六年生を送る会」 & 「6年生ありがとう大作戦」



3月2日(火)に「六年生を送る会」が行われました。5年生が中心となって、計画と運営・当日の進行を行う初めての行事でした。短い準備期間、しかも3人で様々な企画や連絡調整をするのは大変だったと思います。しかし、そこは今まで6年生と一緒にやってきた委員会活動などで培った力がモノを言います。そしてその5年生を支える1,2,4年生全員の思いで作りに上げられた素晴らしい六送会でした。。

1,2年生は前号でもお伝えした「元気玉ワイド～6送会スペシャル」秋から熟成させた集大成でした。今回のキャスターは龍生さん…毎回他の役割も替わっていますが、6年生への突撃インタビューではレポーター、カメラマン、音声さんもかなりらしい動きを見せます。誰がどの係をしても大丈夫な様子から…みんなで協力して作り上げてきたことがうかがえました。番組(?)中には「小千谷こい唄」に合わせてダンスと縄跳びを披露…「ヨシタ～」のかけ声で6年生にエールを送りました。

4年生は「勇気100%」の振り付き替え歌「6年生カンペキ！」を歌ったあと、一人ずつメッセージを送りました。替え歌では6年生一人ずつの得意なことやスゴイところを歌い、サビでは「♪6年生カンペキ～いつでもお手本になるさ～誰でも憧れてしまう6年生さ～♪、♪そうさ6年生カンペキ～もう卒業しかないさ～あとは全校に任せて～中学校がんばってください～♪」と思いを伝えました。途中、曲の音声途切れるトラブルがありましたが、元気よく最後まで歌いました。さすがは東山小応援団の4年生！

間に全校合唱「365日の紙飛行機」を挟んで、5年生の3人娘が「Yamacco」としてデビュー。頭に大き



なりボンをつけ、かわいい衣装で「パプリカ」にのせてメッセージを送り、歌とダンスで会場を盛り上げました。そして…5,6年生お決まりの「くす玉」が登場。6年生が綱を引くと「6年生 中学校でもがんばってね!!」のメッセージが現れました。6年生が昨年から行事のたびに作り、みんなで割ってきた「くす玉」です。5年生のくす玉は6年生が作った伝統(?)が引き継がれた証だと感じました。

最後は6年生からお返しのおし物。「そして伝説へ(ドラゴンクエストのテーマ)」を演奏しながらスクリーンには6年間の写真…思い出の数々が映し出されました。次は「手紙～拝啓 十五の君へ～」とスクリーンにはみんなへのメッセージ…そして、いきものがかりの「ありがとう」の斉唱のあとは在校生、家族、先生方へのメッセージ…さらに在校生と先生方へ「手作りマスクケース」のプレゼントと、正に怒濤のおし物でした。構成、クオリティ、態度や声の大きさ…さすがは6年生。最後にまたお手本となる姿を見せてくれました。

実は六送会には、1,2年生が「小千谷こい唄」を歌うと聞いて、小千谷市の広報担当の方とFMにいがたの方が取材に来ていました。当初はお二人とも1,2年生の発表が終わったら帰るおつもりだったのですが、おし物の楽しさと感動、子どもたちが生き生きと演じたり、声援を送っている姿に、思わず最後まで見入ってしまった…と、目を赤くして帰って行かれました。

「6年生を送る会」を皮切りに、5年生が企画した「6年生ありがとう大作戦」期間に突入しています。4日(木)から5日間「サンキュー食」として6年生と在校生が入り交じって給食を食べ、BGMには6年生のお気に入り曲が流れたり、オルゴールの曲が流れたりしています。コロナウイルス感染防止のため、全校が一つの部屋で食べることはできず、食べながら話しをする訳にもいけませんが、それぞれの部屋で、いつもより給食を早めに食べて話したり笑ったりしています。5日(金)には「6年生と遊ぼう会」がありました。内容は6年生対在校生のかくれんぼでした。単純な遊び「だから」なのか「なのに」なのか…異様な盛り上がりを見せ、全校児童が熱中しました。

卒業式まであと二週間。校舎からはこれまでと変わらない子どもたちの元気な声が聞こえてきますが、時折、6年生と一緒にいられる残りわずかな時間を精一杯過ごしているような雰囲気を感じたり、給食の時に流れるオルゴールの音色に、もの寂しさを感じたりします。4日の児童朝会では委員会の引き継ぎ式がありました。今日10日が今年度最後の委員会活動です。バトンを渡す6年生と受ける在校生…今まさに、東山小学校は今年度の佳境です。

